

## F-7 家計調査における食費と栄養の関係

厚生省人口研 内野 澄子

1. 家計調査においては貨へい支出としての食費の詳細な調査が行なわれるが、その実体である栄養価の調査は行なわれない。他方、栄養調査においては摂取食品についての厳密な栄養分析が行なわれると共に、食材料費の換算が行なわれるが、それは間接的である。それぞれの調査はもともと目的を異にしたものであるから、当然のことではある。しかし、食費と栄養は名目と実質との関係にあるのであるから、同時に調査することによって、その実体をあきらかにすることが望ましい。ここでの報告は、家計調査における食費を直接栄養価に換算することにより、そこにみられる地域パターン、社会経済的パターンを、栄養調査におけるそれぞれのパターンと対照することにより、両者の間に対応性がみとめられるかどうかを検討することを目的としている。

1. 大規模な家計調査と栄養調査を利用することが望ましいが、ここでは昭和40年人口問題研究所で事例調査として行なった100世帯の家計調査を利用し、その食費内容を栄養に換算し、そこでみられる地域別、所得水準別、職業別パターンを昭和40年度栄養調査(厚生省)結果と比較分析を行なった。

3. 所得水準別にみるとほぼ対応した関係がみとめられるようである。なお、現時点においては分析中であるため、詳細な結果は学会において行なう。